

HARI Question Bank

東洋医学シリーズ

クエスチヨン
バンク

臨床医学各論

蛭東洋医学研究所

目次

臨床医学各論Ⅰ（整形外科）	・・・	3
臨床医学各論Ⅱ（内科1）	・・・	14
臨床医学各論Ⅲ（内科2）	・・・	22
臨床医学各論Ⅳ（感覚）	・・・	31
臨床医学各論Ⅴ	・・・	43

※ページ番号はpdfファイルのページになります。

本書の使い方

- ✓ 左半分 穴埋め問題になっています
- ✓ 右半分 回答文になっています
- ✓ 右半分を隠して、左半分を見ながら、
右側の内容が答えられるよう暗記しましょう

臨床医学各論 I

(整形外科)

复发性關節症と生じやすい部位 3つ

① 40以上の痛発、年齢、性差、程度、慢性(年々)

原因 一対〇〇、二対〇、〇

②の原因 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 1, 2

③の原因 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 3

④の原因 痛発 3つ 149例, 12, 3

症状 6つ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 1, 2, 3

⑤の原因 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 4, 5, 6

診断 X線 3つ

関節液 1つ

検査 6つ

① 3つ 〇〇〇〇〇〇

② 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

③ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

④ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

治療

⑤ 一対〇〇〇〇〇〇, 二対〇〇〇〇〇〇, 〇〇〇〇〇〇〇〇

基礎疾患 5つ

① 〇〇〇〇〇〇

② 〇〇〇〇〇〇

③ 〇〇〇〇〇〇

④ 〇〇〇〇〇〇

⑤ 〇〇〇〇〇〇

⑥ 〇〇〇〇〇〇

⑦ 〇〇〇〇〇〇

⑧ 〇〇〇〇〇〇

⑨ 〇〇〇〇〇〇

⑩ 〇〇〇〇〇〇

⑪ 〇〇〇〇〇〇

⑫ 〇〇〇〇〇〇

① 膝関節, ② 股関節, ③ 足関節

40歳以上, 女性, 大, 工人, 一対性

④ 一対性: 老化, 肥満以外の増発力70%, ⑤ 二対: 外傷, 股関節痛

⑥ 加齢による関節軟骨の進行変性, 荷重と関節面での摩擦の刺激

⑦ 厚靴による関節の変形と増進性変化

⑧ 外傷(半月板損傷, 韌帯損傷, 骨折), ⑨ 慢性関節炎, ⑩ 関節リウマチ

運動開始時痛, 階段昇降時痛, 正座困難

関節水腫, 変形, 左病(内側側副靭帯損傷)

関節腔隙の狭小化, 軟骨下骨の硬化像, 骨棘の形成

淡黄色透明, 粘稠性あり

大腿四頭筋徒手筋力検査, ① 変形, ② 膝蓋骨圧迫テスト

③ 膝蓋骨圧迫, ④ 大腿周計, ⑤ 膝関節屈曲ROM

内反変形, 外反変形, 屈曲変形, 内反変形

膝蓋大腿関節(PF)関節の変性 (patello-femoral)

関節水腫 膝蓋, 大腿

鉄血の治療: 関節鏡視下テラリドロン

15% . 80% 二対性〇〇〇〇, 女性〇〇〇〇

先天性股関節脱臼, 臼蓋形成不全, ① ヘルニア病

大腿骨頭ヘルニア症, 大腿骨頭壊死症

6-8才の男児

② ハバーデン結節 (DIP), ③ ブライル結節 (PIP)

40歳以上の女性, ① 5% 〇, ②: ① 20% 合併例

肩関節周囲炎, 50歳台, 特異性, 非特異性, 慢性, 急性

腱板炎, 肩峰窩擦炎, 五十肩, 上腕二頭筋長頭腱炎

不明, 使心位で, 進行変性

軟部組織の進行変性, 炎症

① 疼痛, ② 可動域制限, ③ 拘縮

寒冷増悪/夜間痛/上腕打段軟/熱感/発赤/腫脹/石

痛増悪/可動域制限, 結核陽性, 結核陰性

④ 上腕二頭筋長頭腱炎, 腱板断裂/石灰沈着性腱板炎

(8) ① 下肢の神経 2> , 元々○
 ① 走行 4> の途中に位置 a, b
 c, d
 ② 走行
 ① 皮膚の分布, ③ 筋, ④ 筋 1つ
 ② 皮膚, 筋内
 ④ 下肢の疾患, 神経疾患 2>, 3つ以上○
 ① 好発部位 2>
 ② 症状 3> . 神経
 ④ 原因 2> . 疾患
 ④ ② 2種類
 ③ 年齢 2> 性差, 部位
症状
 ④ ① ②
 年齢, 性差, 鏡反, 検査

① 坐骨神経 ② 腓骨神経, 坐骨神経
 a 大腿後側(股上)分岐, b 膝関節部で腓骨頭下方直下
 c 下腿部, 外側: 浅腓骨神経, 内側: 深腓骨神経 ④ 足関節伸筋の下
 a 腓骨, b. 膝下中火, c. 経路, d 内果下方, 足根管, 足底
 ① 下腿外側. 足背, ② 長腓骨筋 ③ 短腓骨筋, ④ 前脛骨筋 ⑤ 足背伸筋群
 下腿後側. 足底, 下腿三頭筋, 足趾伸筋群
 ① 絞扼神経障害 / ② 腱鞘炎 (1つ指, 1つ以上) ③
 ④ 腓骨頭直下, ⑤ 足根管-足節支那
 変形: 下垂足, 尖足, 脚: 鵞足, 脛外骨骨折後
 変形: 鉤足, 脚: 踵骨骨折 (100%), 腓骨神経麻痺
 滑膜炎性腱鞘, 腱鞘性腱鞘
 中年以降. 1-2 発症頻度, 女性, MP, 母指, 中指, 環指
 3 関節現象 (D, F 2>)
 短母指伸筋月直, 長母指伸筋月直
 中年以降, 女性, 出産後, 7-70 2> インテ 2

(9) ④ 骨の代謝 3> 1. ① ②, - (① ② ③), 3. - (① ② ③)
 ・ 骨粗鬆症 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 2 種類, 好発年齢, 2> ① ②, 性差
 ④ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ・ 病歴 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 " ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ・ 症状 3>
 2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ・ 診断 3>
 2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ・ 治療
 ④ 骨軟化症 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ・ 好発年齢 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ・ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

1 休上期, 2 吸収期 (破骨細胞), 3 形成期 (骨芽細胞)
 骨量の減少, 骨微細構造の変化, 骨折 (1>)
 原発性, 続発性, 50 歳代 1/4, 80 歳代 1/2, 女性
 (1) 同型性, 骨芽細胞の増加 (形成期), 原発性 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 高同型性, 破骨細胞の増加 (吸収期), 続発性
 [甲状腺機能亢進症, 7-3> 症候群]
 1 無症状, 2 脆骨性骨折, 3 脊椎の変形
 橈骨遠位端, 上腕骨近位端, 指根直上大腿骨頭部骨折
 脆骨性骨折の有無, ① AMI ② 診断, ③ 画像診断
 80% 以上, 70% 未満 [骨密度 Yang Adult Mean]
 [予防的治療, (薬物, 運動, 食事, 予防的)]
 a 石灰化不十分 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 [骨髄質の増加] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

臨床医学各論 [整形] 子とめ ③

名称	年齢(年)	性差	頻度・特徴	予後
変形性関節症 (1次性)	中年以降		特発性	
変形性関節症 (2次性)	若年者も		抗発性	
変形性膝関節症	40歳以上	女性	大. 小	膝蓋骨圧迫, 膝蓋跳動
変形性股関節症		女性	二次性80%	
ヒール骨節	40歳以上	女性	DIP, 多	
グザール骨節	40歳以上	女性	PIP	
アールズ病	6~8歳	男児		
五十肩	40-60歳, 50代	子	多	前・後・側・上, 上・下, 上・L4, 上・P7, 上・L2-3, 上・L5
椎間棘突起 (胸)	20~40歳	男性	L4/L5, L5/S1	SLR, 伸・屈, FMS, 伸・屈, EHL, FHL, PTR, ATR
後縦韌帯骨化症 (頸)	50歳以上	男性	多	
" (胸)	50歳以上	女性	家族集積性	
脊椎分離不全症	男性: 20-30歳 女性: 40-50歳	男性 女性	分性 L5 上 L5/S1	
変形性脊椎症 (頸)	50-60歳	男性		頸・肩, 上・下
" (胸)	中年-老人層	子		
椎管狭窄症 (頸・胸)	40歳以上	男性		(胸) 間欠性跛行
胸部出口症候群	15-50歳, 20代	女性	右・左	E-L1, T1-L1, T1-L1, T1-L1, T1-L1, T1-L1
バンダリオン	10-30歳	女性	子・胸・背	
手指蒼症候群	20-90歳, 50代	女性	利・不	7-12, 4-6, 4-6
椎間棘突起 (頸)				頸・肩, 上・下
椎間関節性腰痛				椎間関節圧迫, 後・側・前
筋・筋膜性腰痛				腰部圧迫, 前・側・後
橈骨神経麻痺 疼痛名				下垂手, 下垂指
正中神経麻痺				猿手, 10-12, 7-12, 4-6
尺骨神経麻痺				ウチ手, 7-12, 4-6
手の指	中年以降 1-2才	女性	MP, 母, 中, 環	3彈現象, 10, 7-12, 4-6
ドゥルニ病	中年以降	女性	上肢	7-12, 4-6

前々一三[9]の72と

○骨腫瘍 分類 ① 良性腫瘍, 2002例

・骨肉腫 1-5 ② 腫瘍

・Ossification 1-3 (良性)

・悪性 1-3

・軟骨肉腫 ③ 増大 (良性), ④ 骨髄, 軟骨肉

・骨髄腫 ⑤ ⑥ ⑦, ⑧ ⑨

○骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

[10]の形態異常 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

原因 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

④ 治療 27

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・骨肉腫 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

[11]の側弯症 脊柱 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

・側弯症 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

① 脊柱 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

② 脊柱 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

④ 症状 30

・側弯症 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

① 先天性 2 後天性 3 腫瘍 ④ 似似性 ⑤ 腫瘍

1. 先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

1. 先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

1. 先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

40歳台, 50歳台, 乳癌, 前庭腺癌, 肺癌, 癌腫 (骨髄, 軟骨肉)

血行性転移 [骨髄腫, 病状骨折]

先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

先天性 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

1 遺伝的 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

3 環境因子 [土壌] ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

[⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳]

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

臨床医学各論 I (整形)

(4)

① 側弯症の花身のお矯正 27

④ 外反母趾 〇〇〇〇〇〇^{性差}, 長足〇〇〇〇

成因 27 10代〇中年明〇, 〇

症状 37

診断 27 (〇〇〇), 矯正

④ 内反足 〇〇〇〇, 〇〇〇〇〇〇

扱反 〇に次い〇〇〇〇, 性差, 原因

症状 47

治療の原則, 矯正

(12) 骨折 定義 同20の骨折. 〇〇骨折の^{骨折}機能, 骨折^{骨折}

② 程度^{骨折}分類 27, 状況^{骨折}分類 〇(47)

鎖骨^{骨折}骨折 47 1. 2. 3. 10分類

3の^{骨折}骨折, 4. 30^{骨折}骨折, 〇〇〇〇

40^{骨折}骨折, 〇〇^{骨折}骨折, 〇〇^{骨折}骨折

④ 脱臼 定義 関節^{脱臼}〇〇〇〇^{脱臼}機能 分類 27 (状況)

脱臼^{脱臼}27, 〇〇^{脱臼}骨折^{脱臼}37, 〇〇

〇〇^{脱臼}骨折^{脱臼}〇〇〇〇

④ 脱臼 定義 〇〇〇〇^{脱臼}機能, 骨折^{脱臼}部位

治療 〇, 47

(13) 肘 肘^肘骨折. 同20の骨折^肘〇〇〇〇^肘骨折^肘骨折^肘骨折

肘^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

肘^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

診断 〇(1072), 〇(1072), 〇(1072)

④ 肘 肘^肘骨折, 肘^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

〇^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

④ 肘 肘^肘骨折, 肘^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

症状: 肘^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

原因 肘^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

④ 肘 肘^肘骨折, 肘^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折^肘骨折

ミルウォーキーブレース, ポストンブレース

母趾^{母趾}バ^{母趾}趾^{母趾}への側屈(外反), 女性^{母趾}増加

家族^{母趾}集積性, 肥満^{母趾}体型, 靴

母趾^{母趾}の変形^{母趾}と^{母趾}疼痛, バ^{母趾}コ^{母趾}の^{母趾}疼痛^{母趾}と^{母趾}発赤, 腓^{母趾}脛^{母趾}(^{母趾}ハ^{母趾}ス)・足^{母趾}長の^{母趾}短^{母趾}

外反^{母趾}母趾^{母趾}角(15°), 第^{母趾}1^{母趾}・第^{母趾}2^{母趾}中^{母趾}足^{母趾}骨^{母趾}間^{母趾}角(10°), ホ^{母趾}ホ^{母趾}疼痛

足^{母趾}の前^{母趾}部^{母趾}が^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}に^{母趾}屈^{母趾}曲^{母趾}, 後^{母趾}部^{母趾}が^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}に^{母趾}屈^{母趾}曲^{母趾}

先天性^{母趾}股^{母趾}関節^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}の^{母趾}原因^{母趾}は^{母趾}男^{母趾}児^{母趾}, 不明

内^{母趾}反^{母趾}足^{母趾}, 尖^{母趾}足^{母趾}, 内^{母趾}転^{母趾}足^{母趾}, 凹^{母趾}足^{母趾}

早期^{母趾}治療^{母趾}開始^{母趾}, ニ^{母趾}ス^{母趾}ブ^{母趾}ラ^{母趾}ウ^{母趾}型^{母趾}器具

骨^{母趾}の^{母趾}生理^{母趾}的^{母趾}連^{母趾}続^{母趾}性^{母趾}, 外^{母趾}傷^{母趾}性^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 痛^{母趾}的^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 癒^{母趾}着^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}

完全^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 不^{母趾}全^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 単^{母趾}純^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}(^{母趾}骨^{母趾}下^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}), 複^{母趾}離^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}(^{母趾}開^{母趾}裂^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾})

大^{母趾}腿^{母趾}骨^{母趾}頭^{母趾}部^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 上^{母趾}腕^{母趾}骨^{母趾}近^{母趾}端^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 橈^{母趾}骨^{母趾}直^{母趾}立^{母趾}部^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}(^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}包^{母趾}内^{母趾})

3^{母趾} J^{母趾}-L^{母趾}2^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 4^{母趾} 鎖^{母趾}骨^{母趾}骨^{母趾}折^{母趾}, 正^{母趾}中^{母趾}神^{母趾}經^{母趾}損^{母趾}傷^{母趾}, 7^{母趾} 肘^{母趾}変^{母趾}形^{母趾}

小^{母趾}児^{母趾}, 男^{母趾}性^{母趾}, 鎖^{母趾}骨^{母趾}の^{母趾}中^{母趾}1/3^{母趾} (3^{母趾}等^{母趾}分^{母趾}に^{母趾}中^{母趾}央^{母趾}部^{母趾})

正^{母趾}常^{母趾}の^{母趾}可^{母趾}動^{母趾}域^{母趾}に^{母趾}干^{母趾}渉^{母趾}し^{母趾}て^{母趾}失^{母趾}失^{母趾}た^{母趾}, 橈^{母趾}骨^{母趾}生^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}(^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}), 肩^{母趾}の^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}

肩^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}, 股^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}, 外^{母趾}傷^{母趾}性^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}環^{母趾}等^{母趾}, 前^{母趾}腕^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}

腕^{母趾}神^{母趾}經^{母趾}最^{母趾}麻^{母趾}痺^{母趾}, 腕^{母趾}高^{母趾}神^{母趾}經^{母趾}麻^{母趾}痺^{母趾}, 後^{母趾}方^{母趾}腕^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}

腕^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}の^{母趾}相^{母趾}互^{母趾}内^{母趾}容^{母趾}正^{母趾}常^{母趾}, 足^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}に^{母趾}多^{母趾}し

RICE^{母趾}療^{母趾}法^{母趾}, 安^{母趾}静^{母趾}, 冷^{母趾}却^{母趾}, 圧^{母趾}迫^{母趾}, 挙^{母趾}上^{母趾}

上^{母趾}腕^{母趾}骨^{母趾}外^{母趾}側^{母趾}上^{母趾}腕^{母趾}炎^{母趾}, 上^{母趾}腕^{母趾}骨^{母趾}外^{母趾}側^{母趾}上^{母趾}腕^{母趾}炎^{母趾}外^{母趾}側^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}水^{母趾}腫^{母趾}

30~50^{母趾}歳^{母趾}の^{母趾}主^{母趾}幹^{母趾}, バ^{母趾}ッ^{母趾}ウ^{母趾}ス^{母趾}ト^{母趾}U^{母趾}-1^{母趾}), 肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}の^{母趾}背^{母趾}屈^{母趾}, 前^{母趾}腕^{母趾}脱^{母趾}臼^{母趾}外^{母趾}

外^{母趾}側^{母趾}上^{母趾}腕^{母趾}部^{母趾}の^{母趾}圧^{母趾}痛^{母趾}, 指^{母趾}屈^{母趾}と^{母趾}回^{母趾}外^{母趾}の^{母趾}痛^{母趾}, 肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}の^{母趾}遠^{母趾}端^{母趾}に^{母趾}疼痛^{母趾}を^{母趾}伴^{母趾}う^{母趾}

ト^{母趾}U^{母趾}セ^{母趾}ン^{母趾}ト^{母趾}ス^{母趾}(^{母趾}手^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}背^{母趾}屈^{母趾})^{母趾}中^{母趾}指^{母趾}伸^{母趾}展^{母趾}外^{母趾}, 右^{母趾}肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}外^{母趾}

上^{母趾}腕^{母趾}骨^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}上^{母趾}腕^{母趾}炎^{母趾}に^{母趾}利^{母趾}手^{母趾}腕^{母趾}肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}, 同^{母趾}内^{母趾}屈^{母趾}筋^{母趾}群^{母趾}

利^{母趾}手^{母趾}腕^{母趾}側^{母趾}(^{母趾}右^{母趾}と^{母趾}左^{母趾}), 内^{母趾}側^{母趾}上^{母趾}腕^{母趾}部^{母趾}の^{母趾}圧^{母趾}痛^{母趾}, 又^{母趾}肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}の^{母趾}肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}の^{母趾}痛^{母趾}

肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}の^{母趾}障^{母趾}害^{母趾}の^{母趾}主^{母趾}因^{母趾}は^{母趾}急^{母趾}性^{母趾}骨^{母趾}軟^{母趾}骨^{母趾}炎^{母趾}, 軟^{母趾}骨^{母趾}相^{母趾}対^{母趾}の^{母趾}変^{母趾}形^{母趾}

尺^{母趾}側^{母趾}側^{母趾}副^{母趾}掌^{母趾}骨^{母趾}挫^{母趾}傷^{母趾}, 尺^{母趾}骨^{母趾}神^{母趾}經^{母趾}障^{母趾}害^{母趾}と^{母趾}も^{母趾}

投^{母趾}球^{母趾}部^{母趾}作^{母趾}的^{母趾}切^{母趾}込^{母趾}と^{母趾}し^{母趾}て^{母趾}, 右^{母趾}肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}の^{母趾}肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}内^{母趾}側^{母趾}の^{母趾}障^{母趾}害^{母趾}

上^{母趾}腕^{母趾}骨^{母趾}近^{母趾}端^{母趾}骨^{母趾}頭^{母趾}線^{母趾}の^{母趾}障^{母趾}害^{母趾}と^{母趾}も^{母趾}, 肘^{母趾}関^{母趾}節^{母趾}の^{母趾}障^{母趾}害^{母趾}

④ 2010-膝, 2010-脚作2010, 年部 ①-①

症状 ① (2010) ①, ① (2010)

原因 ① 2010, 2010 ① ① ① ① ① ① ① ①

膝盖韧带障碍, 15-18岁 (大腿骨伸出的时候)

膝盖骨下极 (膝盖骨尖部) 自觉痛后痛, 再发

膝盖韧带, 大腿骨生长, 大腿回缩筋(2010)筋生长后 ~ 2010

① = 2010

丁
除

内
内
十
多

四
日

外

一

十

正

法

臨床医学各論Ⅱ

(内科1)

臨床医学各論 II (内科)

- ②

・他覚症状

・検査

・治療

④ 急性肝炎 〇〇以内の潜伏期 〇〇以内の経過 〇〇以内の回復

・発症期後 男女比 〇〇対〇〇

・他覚症状

・検査 47

・生存率 治療

⑤ 慢性肝炎 〇〇以上持続, 〇〇以内の経過 〇〇以内の回復

・① 慢性持続性増殖性 〇〇対〇〇

・病因: HAV, HBV, HCV 進行 移行 症状

・予後 〇% 〇% 移行

・治療 〇% 〇% 〇% 軽化

⑥ 胆の炎 (胆管炎 〇〇対〇〇), 重症化率 〇〇%

同女性, 発症率 〇%。

・急性胆の炎 症状, 発症 〇% 〇% 〇% 〇%

・慢性胆の炎 症状

⑦ 膵炎 27

① 原因因子 37

・臨床症状

・検査

② 原因

・症状

・検査

・予後

⑧ 潰瘍 〇〇以内の経過 〇〇以内の回復

・胃十二指腸の 〇〇% 〇〇% 〇〇%

・合併 〇〇% 原因, 〇〇% 原因

黄疸, 肝腫大, 肝叩打痛 (カウチン)

血清AST, ALT, LDH 上昇, 肝臓の時間延長(胆汁酸)

安静, 肝庇護療法 (高カロリー, 高タンパク)

8週間, 腹圧, 90% 〇〇% 〇〇% - A, B型

2%, 1:1, 発症期 27% 〇〇% 〇〇% 〇〇%

肝濁音界の縮小・消失

肝臓の時間延長, 1-2週間 7324の時間延長(40%以上)

血清ALTの増加, アルブミン低下

10-20%, 血の交換, 副腎性ホルモン投与

6ヶ月, 門脈圧, 活動性, 非活動性

肝硬変

慢性化率, 30%, 慢性性進行, HCV 80% 〇〇% 〇〇%

無症状, 為病学, 倦怠感, 肝の腫大

活動性の 20-30% 〇〇% 肝硬変の移行, 非活動性の良好

17-72% 治療の 活動性の 非活動性の 〇〇%

細菌感染, 胆管炎, 化生の割合, / 胆道炎

女性 〇〇%, 胆管炎 〇〇%

発症の腹痛, 右肩, 右背部, 持続性

右季肋部痛, 右背部の軽・疼痛

急性膵炎, 慢性膵炎

ALT 上昇, 胆道疾患, 持続性

発熱, 心窩部 背部の激痛, 背臥位で痛み増強

血液検査でアミラーゼ上昇

ALT 上昇, 胆道疾患, 急性膵炎

上腹部痛, 心窩部 季肋部痛, 持続的鈍痛, 背臥位で痛

アミラーゼ上昇, 膵臓石灰化, 膵管拡大 石灰化

膵癌の合併頻度高い 回復 10%

壊死, 欠損, 粘膜炎 十二指腸(炎症)

消化性潰瘍

急性: 十二指腸, 慢性: 消化性

臨床医学各論Ⅲ

(内科2)

臨床医学各論II (内科2) - ①

① 内分泌疾患. 分類3つ 例1

① 5つ a. 1. a. 2. b. c. d.

①-1) 内分泌
症状 7つ

症状の原因

①-2) 別名 口症

○の分泌量 ○の○

病型 3つ ○の○

○の○の○の○

○の異常

原因: ○の○の○の○

分類 ① ② ③ (○の○の○の○), ○の○の○

② ③ (○の○の○), ○

④ ○の○の○の○

症状 5つ ○の○の○

①-1) 下垂体腫瘍 - 圧迫状態, 鞍上部の○の○, 視床下部の○の○

①-2) ① ② ③ (○の○の○の○), ○の○の○

④ (○の○) ① ② ③ (○の○の○の○), ○の○の○

症状 ○, ○, ○, ○, ○の○

検査 尿量 (0-20L/日), ○: ○以下

⑤ 甲状腺 ○と○の○ (○: T₀)

甲状腺ホルモン: ① ② ③ (○の○の○), ○の○の○

病名 2つ, 甲状腺 ○の○

⑥, 別名. 別名(和). (英)

原因: (○の○)の○, ○の○

症状 ○の○の○: ○, ○, ○

全身症状 4つ, 体重, 体温, 発汗, 倦怠感 3つ

特徴 1つ, 消化器 1つ, 以上と○の○の○, 検査 ① ② ③

診断 ○, ○, ○, ○の○の○の○

⑦ 症状 大人, 幼児, 自己免疫原因の○

症状: 循環器系 2つ, 消化器, 甲状腺

⑧ 4つ ○, ○, ○, ○

⑨ ○(○)の○の○, ○の○の○の○

症状 3つ ○, ○, ○

A 下垂体疾患, B 甲状腺疾患, C 副腎疾患

①-1) 下垂体腫瘍, ②-1) 症候群, ③-1) 症候群, ④-1) 症候群

②-2) 下垂体腫瘍の○の ACTH 副腎刺激試験(+) - ① ② ③ ④

③-2) 下垂体腫瘍, 中心性肥満, 水牛様脂肪沈着, 高血圧

④-2) 高血糖, 月経異常, 赤色皮膚線条

⑤-2) ① ② ③ ④

⑥-2) 症候群: 副腎皮質機能亢進症

副腎皮質ホルモン分泌量の測定(① ② ③ ④) - ① ② ③ ④

⑦-2) 副腎皮質刺激試験(+) (ACTH) ① ② ③ ④

⑧-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④

⑨-2) 副腎皮質機能亢進症と形質, ACTH ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑩-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑪-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑫-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑬-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑭-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑮-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑯-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑰-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑱-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑲-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑳-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉑-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉒-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉓-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉔-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉕-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉖-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉗-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉘-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉙-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉚-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉛-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

㉜-2) ① ② ③ ④ (① ② ③ ④) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

ADH: antidiuretic, CRH: corticotropin-releasing hormone, ACTH: adrenocorticotropic hormone, TSH: thyroid-stimulating hormone

臨床医学各論 II (内科)

— (3)

- ① 再生不良性貧血 \rightarrow 造血機能低下 \rightarrow 貧血、白血球減少、血小板減少
- ② 原因不明 \rightarrow 免疫性 \rightarrow 造血機能低下 \rightarrow 貧血、白血球減少、血小板減少
- ③ 白血球減少 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ④ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症

- ① 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ② 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ③ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ④ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症

- ① 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ② 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ③ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ④ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症

- ① 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ② 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ③ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ④ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症

- ① 再生不良性貧血 \rightarrow 造血機能低下 \rightarrow 貧血、白血球減少、血小板減少
- ② 原因不明 \rightarrow 免疫性 \rightarrow 造血機能低下 \rightarrow 貧血、白血球減少、血小板減少
- ③ 白血球減少 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ④ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症

- ① 再生不良性貧血 \rightarrow 造血機能低下 \rightarrow 貧血、白血球減少、血小板減少
- ② 原因不明 \rightarrow 免疫性 \rightarrow 造血機能低下 \rightarrow 貧血、白血球減少、血小板減少
- ③ 白血球減少 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症
- ④ 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症 \rightarrow 白血球減少症

临床医学各论 II (内科)

-④

① 多发性肌炎 ① 肌肉疼痛 ② 肌力下降 ③ 血清 CK 升高
 ④ 肌电图异常 ⑤ 活检异常 ⑥ 治疗反应
 ⑦ 检查 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

特发性炎症性肠病, 炎症性肠病
 10岁前起, 30-40岁, 女性, 慢性腹痛
 反复发作, 腹痛, 腹泻, 粘液血便 (TAS 40%)
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

20. 神经性食欲不振症, 0の異常心理, 精神の
症状 0 ()

1. 神经性過食症 症状 2000の行市242

・食行動, 女

・食行動異常 (拒食, 過食, 嘔吐)

自己嘔吐, 下剤の乱用 濫用

(終)

性)

子
性
上

加

元
心

臨床医学各論IV

(感覺)

臨床醫學各論 IV(内) ②

① 痛覚, 温度覚, 触覚, 振動覚, 位置覚, 運動覚, 深部痛覚, 浅部痛覚, 痒覚, 压覚, 痛覚

② 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

③ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

④ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑤ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑥ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑦ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑧ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑨ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑩ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

① 痛覚, 温度覚, 触覚, 振動覚, 位置覚, 運動覚, 深部痛覚, 浅部痛覚, 痒覚, 压覚, 痛覚

② 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

③ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

④ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑤ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑥ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑦ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑧ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑨ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

⑩ 痛覚, 痒覚, 压覚, 触覚, 温度覚, 位置覚, 运动覚, 深部痛覚, 浅部痛覚

① 神经疾患, 意識は維持される。3つ ① ② ③ 特徴。①, ②, ③

・脳AHL? 3つ

④と⑤の呼吸 2, 2, 2 呼吸

・脳内圧亢進の比の現象, 0.0 外 外 外
→ 0.0.0 表 生 了

・脳血管障害, 2つ 2つ, 2つ 2つ 0.0 障害



⑤ 原因 ① 特 ②, 発症20-50% ③
④ 前 ⑤ 血管 ⑥, ⑦ 血管 ⑧, (血管性)

⑨ 前駆症状 15-50% ⑩ ⑪ ⑫ (脳梗), 発症前明
進行 ⑬ 進行, 危殆因子 3つ ⑭ ⑮ ⑯ (脳)
診断: ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑩ 神経症状 ⑪, 好発部位 ⑫ ⑬ ⑭ ⑮, ⑯ ⑰
⑱ ⑲ ⑳ ㉑, ㉒ ㉓ (㉔) ㉕ ㉖ (㉗)
㉘ ㉙ (㉚) (㉛), ㉜ (㉝)

⑬ 原因 ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

前駆症状 ⑰, 発症時間 ⑱ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑱ ⑲ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ 神経症状の発現 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

TIA ⑰ ⑱ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑰ ⑱ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑰ ⑱ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑰ ⑱ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ①
- ②
- ③
- ④

① 上行性細胞様体賦活系, ② 視床下部賦活系

③ 大脳皮質, ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ 42-247入, 中枢性, ⑤ ⑥ ⑦, 失調性

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 虚血性病変, ② 出血性病変

③ 月経梗塞, ④ 過性虚血発作, ⑤ 脳血栓 ⑥ 脳梗塞

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

TIA, 30. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

臨床医学各論 IV (感覚) - ①

① 内形脱毛症 0.60, 0.10, 0.00, 0.00, 0.00, 0.00, 0.00
 ② 内形脱毛 ①の1/30 ③ 脱毛症

④ 内形脱毛 ①の1/30 ⑤ 脱毛症
 ⑥ 麦粒腫 ⑦ 麦粒腫 ⑧ 麦粒腫 ⑨ 麦粒腫 ⑩ 麦粒腫
 ⑪ 麦粒腫 ⑫ 麦粒腫 ⑬ 麦粒腫 ⑭ 麦粒腫 ⑮ 麦粒腫

⑯ 白内障 ⑰ 白内障 ⑱ 白内障 ⑲ 白内障 ⑳ 白内障
 ㉑ 白内障 ㉒ 白内障 ㉓ 白内障 ㉔ 白内障 ㉕ 白内障
 ㉖ 白内障 ㉗ 白内障 ㉘ 白内障 ㉙ 白内障 ㉚ 白内障

㉛ 聴力検査 ㉜ 聴力検査 ㉝ 聴力検査 ㉞ 聴力検査 ㉟ 聴力検査
 ㊱ 聴力検査 ㊲ 聴力検査 ㊳ 聴力検査 ㊴ 聴力検査 ㊵ 聴力検査
 ㊶ 聴力検査 ㊷ 聴力検査 ㊸ 聴力検査 ㊹ 聴力検査 ㊺ 聴力検査

㊻ 聴力検査 ㊼ 聴力検査 ㊽ 聴力検査 ㊾ 聴力検査 ㊿ 聴力検査
 ㋀ 聴力検査 ㋁ 聴力検査 ㋂ 聴力検査 ㋃ 聴力検査 ㋄ 聴力検査
 ㋅ 聴力検査 ㋆ 聴力検査 ㋇ 聴力検査 ㋈ 聴力検査 ㋉ 聴力検査

① 境界性脱毛 ② 脱毛斑 ③ 脱毛斑 ④ 脱毛斑 ⑤ 脱毛斑
 ⑥ 脱毛斑 ⑦ 脱毛斑 ⑧ 脱毛斑 ⑨ 脱毛斑 ⑩ 脱毛斑

⑪ 脱毛斑 ⑫ 脱毛斑 ⑬ 脱毛斑 ⑭ 脱毛斑 ⑮ 脱毛斑
 ⑯ 脱毛斑 ⑰ 脱毛斑 ⑱ 脱毛斑 ⑲ 脱毛斑 ⑳ 脱毛斑

㉑ 脱毛斑 ㉒ 脱毛斑 ㉓ 脱毛斑 ㉔ 脱毛斑 ㉕ 脱毛斑
 ㉖ 脱毛斑 ㉗ 脱毛斑 ㉘ 脱毛斑 ㉙ 脱毛斑 ㉚ 脱毛斑

㉛ 脱毛斑 ㉜ 脱毛斑 ㉝ 脱毛斑 ㉞ 脱毛斑 ㉟ 脱毛斑
 ㊱ 脱毛斑 ㊲ 脱毛斑 ㊳ 脱毛斑 ㊴ 脱毛斑 ㊵ 脱毛斑

㊶ 脱毛斑 ㊷ 脱毛斑 ㊸ 脱毛斑 ㊹ 脱毛斑 ㊺ 脱毛斑
 ㊻ 脱毛斑 ㊼ 脱毛斑 ㊽ 脱毛斑 ㊾ 脱毛斑 ㊿ 脱毛斑

㋀ 脱毛斑 ㋁ 脱毛斑 ㋂ 脱毛斑 ㋃ 脱毛斑 ㋄ 脱毛斑
 ㋅ 脱毛斑 ㋆ 脱毛斑 ㋇ 脱毛斑 ㋈ 脱毛斑 ㋉ 脱毛斑

㋊ 脱毛斑 ㋋ 脱毛斑 ㋌ 脱毛斑 ㋍ 脱毛斑 ㋎ 脱毛斑
 ㋏ 脱毛斑 ㋐ 脱毛斑 ㋑ 脱毛斑 ㋒ 脱毛斑 ㋓ 脱毛斑

臨床医学各論 V

⑤硬膜外麻酔 ○に注入、○に○内へ麻酔

適用 ○の○に○ ○に○用○s
利点○, 欠点 ○81と○
年数 ○位○ ○注○の○注○に○針○と○の○
副作用 ○も○

①表層麻酔 ○や○に麻酔薬○の○の○の○, 昔○の○
○注×5、

②透注麻酔 ○に○の○に○の○, ○の○部○に○初○透○注○の○

③位層麻酔 ○の○, ○に○注入, ○の○に○指示

○三叉神経痛 ⇨: 1枝 ○ ⇨ 麻酔薬の○の○の○
2枝 ○ ○
3枝 ○ ○

○上肢の手打 ○, ○注○を○
○手指の手打 ○, ○肋間神経痛 ○帯状疱疹 ○位神経痛 ○
○血流障害 ○位層麻酔 ○強・弱・強 ○上肢・下肢 ○透注
○注○の○ → ○改善 ○

[有然] 歯周病 ○(○の○)と ○に○行政; 炎症 ○位

○-○交代 ○の○位 ○の○位
原因菌名 日本歯科歯協, 病原因子
顎関節症 ○の○位 ○, 症状 ○ ○ ○ ○

・3歯の原因
・ITXル錠 ○, 骨芽錠 ○, 歯根 ○ 歯根 ○

○瘻疾: ○の○直物例 ○, 肋間例 ○ と ○の○の○
[神経痛] 神経痛薬 ○の○と ○の○の○の○の○
神経痛 ○の○の○の○

① ○位に○の○の○, 好発部位 ○の○枝, ○の○枝
原因 ○の○の○の○, ○の○の○の○の○
病状 ○の○の○, ○の○の○の○の○
○の○の○
治療 ○の○の○

⑤ の○の○ ○(○) ⑥ ○の○ ⑦ ○の○

② ○性○の○ ○, ○の○ ○-○の○
病状 ○の○の○の○, ○の○の○の○
圧痛点 ○の○の○ 4) ○(○点) ×4

硬膜外腔, 脊髄神経 / 分節

頸部~会陰部, ペインクリニック
頸椎~仙椎に○範囲○の○, 脊髄神経下麻酔の○
局注透注麻酔, 懸滴法, 抵抗消失法
硬膜穿刺, 脊髄神経下腔注入

皮膚, 粘膜, 滴下, 噴霧, リドカイン
貼付法, 望布法, 噴霧法, 含嗽法, 滴下法(眼科)

神経痛, 頭痛, 吐瀉, 脊髄神経, 末梢部位
神経の走行部位 神経叢, 神経池, 神経叢の○

三叉神経T1, 2, 3: 1枝: 眼窩上神経T1, 2
眼窩下神経T1, 2, 3, 上頸神経T1, 2, 3
トカイ神経T1, 2, 3, 下頸神経T1, 2, 3

腕神経叢T1, 2, 3: 斜角筋法
指神経T1, 2, 3, 肋間神経T1, 2, 3

交感神経 / 星状神経節T1, 2, 3
肋間部血流改善 - 難治性疼痛の改善

歯肉炎(歯肉): 出血, 歯周炎: 出血と排膿
30~40歳, 80%. 歯牙喪失原因 1位
歯周病原性細菌, ランジバリア菌, 歯垢

20代増開口障害, 顎関節痛, 咀嚼(筋)痛, 関節障害
ミュータス連鎖球菌の○の○連鎖球菌
(○(再)感染), C1 / C2 / C3 / C4

歯槽線, 内痔核, 外痔核 静脈瘤
特発性神経痛, 慢性性神経痛
三叉, 肋間, 坐骨, 後頭

女性, 50才, II, III
根拠, 動力, 片側性, 視覚, 短電導(○の○)
数行, 2分以内, 誘発領域(HIP-ギン)

神経学的異常
5藥物, 神経T1, 2, 3, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
7, 8, 9, 10, 11, 12(抗中位), 微小血管病, ガンT1, 2, 3

症候性, 帯状疱疹, 脊髄疾患, 30~40
一側性, 半環状, 脊髄症状, 呼吸
パル, 脊髄側線(脊髄点) 腋窩得点(外側点)

胸骨線(胸骨点) 腹直筋の中線上(上腹点)

臨床医学各論

(3)

③ 坐骨神経痛: 0~1 相模, 0 痛部 50% 相模

④ 後頭神経痛: 0, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑤ (一般科) 損傷の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑥ 創傷の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑦ 損傷の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑧ 熱傷の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑨ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑩ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑪ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑫ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑬ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑭ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑮ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑯ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑰ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑱ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑲ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

⑳ 凍瘡の 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120, 0 相模 120

20~40 歳, 胸椎椎間板ヘルニア, 胸椎椎管狭窄症

大後頭, 小後頭, 大肩, 大後頭

症候性, 変形性頸椎症, ラット-11

後頭部, 頸部, 感覚異常, 三叉神経(大枝)

非力, 痛の変化, 身体組織 運路, 断れ

'外傷', '病的損傷', '創傷', '潰瘍'

病的損傷: 急死, 閉鎖性, 非閉鎖性

物理的損傷, 温熱性損傷, 化学的損傷, 電気的損傷

一次治愈 (理想的), 二次治愈, 肉芽形成, 瘢痕形成

受傷面積, 深達度, 分泌の喪失, 30%

9 の原則, 11 (9), 頭面四肢, 熱, 胸腹, 両大腿内股

手掌法, '浅達性', '深達性'

表皮, 真皮 (旧域), あり, 1/2

真皮, 瘢痕なし 3%, あり

真皮深, 瘢痕あり, 知覚鈍麻, あり

表皮-皮下層, 瘢痕性拘縮, 無痛, 石

輸液路, 輸液

しやん, 血流不全, 5~10°C, 氷点下

末梢組織, 循環不全

急性循環不全... → 多臓器不全 (MOF)

十分な循環血液量, 正常な心臓のポンプ作用

正常な血管の緊張 [血圧・心拍・血管]

'出血性', '心原性', 細菌性 = 敗血性

内科的 (内毒素) / 神経性, 在走神経節 / PTX3 因子

1/10 以下 (血圧 100 相当), 心電図 (ST 段 野 0.2)

心肺蘇生 (ABC), 気道, 呼吸, 循環

一時的, 永久的

動脈性, 静脈性, 実質性 (出血点 1/2 以下)

圧迫, 絞扼 (1/2, 2) 符合, 閉塞, 瘻管, 瘻管

二重結合, 結合吻合, / 圧迫, 絞扼 / 瘻管

'瘻管', '瘻管', 糖尿病, 下痢, 全身

血管炎, 結合組織, 瘻管, 強い疼痛, 1/2 以下

5 丹毒, 溶連菌, 延髄, 脊髄, 1/2 以下

'1) 1/2 以下, 血行性, 化膿性, 腸管

'化膿性, 医原性, 1/2 以下, 溶連菌

本書の一部あるいは全部を、無断で複製、転載すること、インターネットで掲載することは、著作権者および出版社の権利の侵害となります。

あらかじめ許諾をお求めください。

本書を無断で複製する行為（コピー、スキャンなど）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き、禁じられています。

また、複写物やスキャンデータを他者へ譲渡・販売することも違法となります。

東洋医学シリーズ クエスチョンバンク

発行者 大塚 信之

発行所 蛸東洋医学研究所

HARI Hotal Ancient-medicine Research Institute

住所 大阪府豊中市蛸池中町

<http://otsuka.holding.jp/HARI/>

E-mail : hari@otsuka.holding.jp

Printed in Japan ©2020 東洋医学研究所